

中塚古墳（桐生市）

これは南下から見た中塚古墳/丘陵性台地東斜面に造られた7世紀後半築造の周堀が巡る方墳



右手（東側）から寄り付くと、標柱と説明板が立っている/その背後が中塚古墳

[video](#)





上野三碑の一つ「山上碑（高崎市）」の碑文には、新川臣の子孫の大見臣の系譜が刻まれているが、中塚古墳はその新川臣の墳墓と推定されているらしい

Gunma Prefecture Historical Site Nakatsuka tumulus



群馬県指定史跡

なかつかこふん

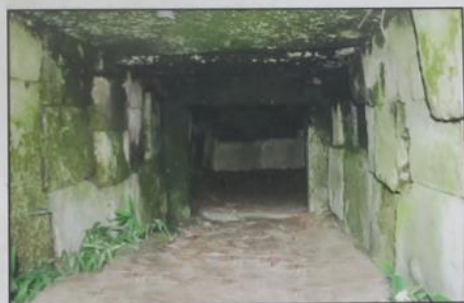
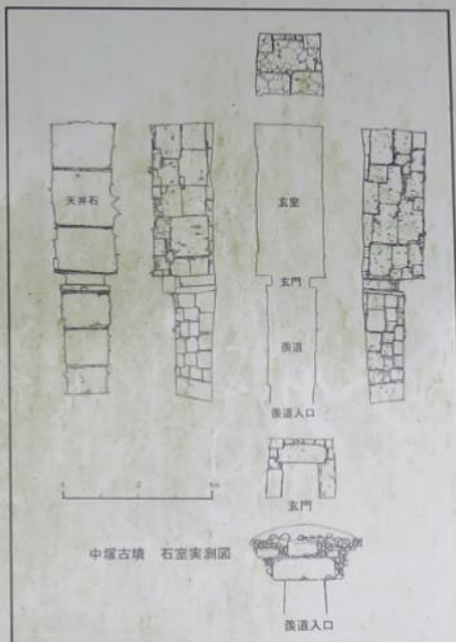
中塚古墳

指定年月日

昭和五十四年十月二日

所在

桐生市新里町新川二五九三



標高約二百メートルの丘陵上に位置し、一辺約四十メートルで周堀をめぐらす方墳である。墳丘は高さ約五メートルで周りが削られている。石室はかなり以前から開口されていたようで、出土遺物については一切不明である。

安山岩の精巧な切石積による横穴式両袖型石室で、古墳時代末期（七世紀後半）の構築とされている。

高崎市山名町にある国の特別史跡上野三碑の一つ「山上碑（六八一年建立）」は、僧の長利が母の為に記し定めた文で、その碑文には佐野三家の最初の管理者となった健守命の子孫の黒売刀自と新川臣の子孫の大見臣との婚姻や系譜が刻まれている。なお新川臣はその頃、この付近一帯を支配した権力者で、中塚古墳は新川臣の墳墓と推定されている。

平成二十九年三月設置

群馬県教育委員会
桐生市教育委員会

道路を北側に回って見たところ



同じく、北西側から見たところ

 [video](#)



さて、説明板の所から墳丘に近づいてみよう



そこで、左手を見たところ/左下は建設会社の機材置き場になっている

[video](#)



そこを進むと、横穴式石室が開口している



こんな塩梅/前方は羨道入口の羨門



ここが羨門

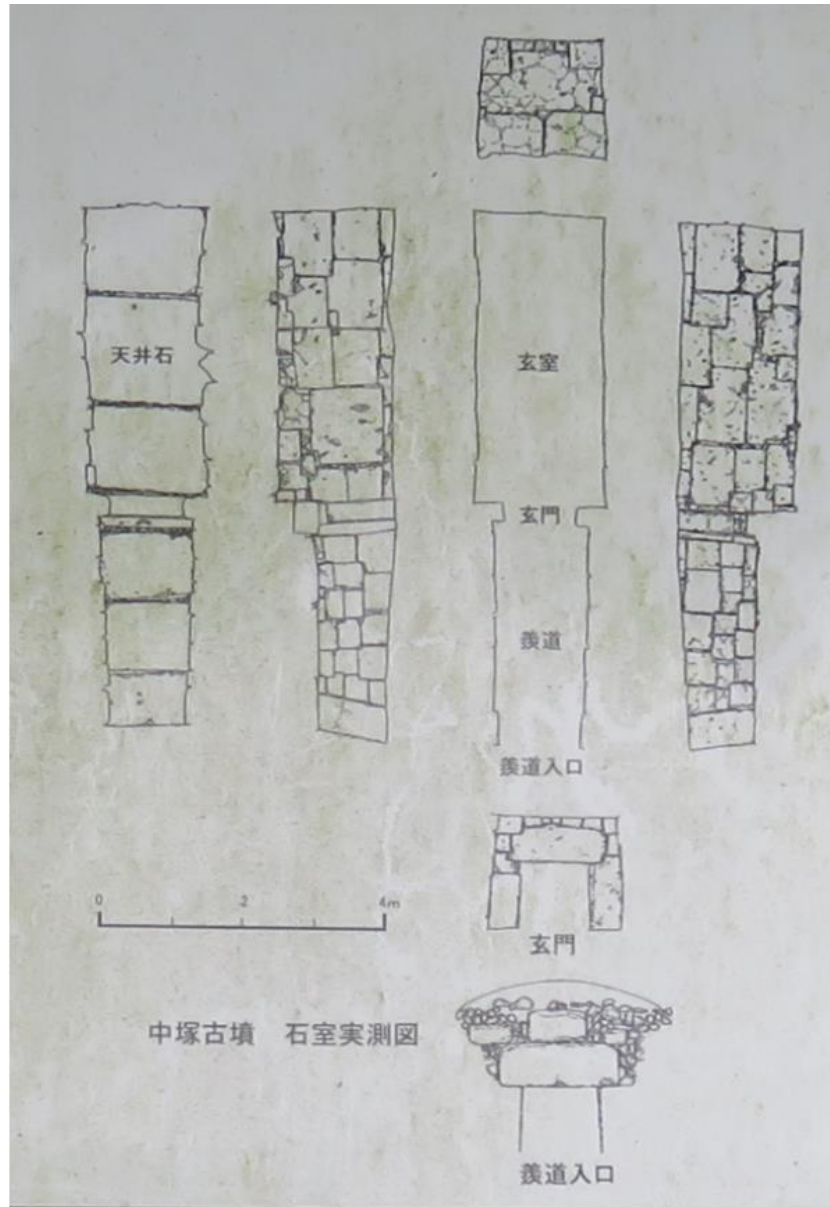
 [video](#)



羨門から覗き込んだところ/羨道の先に玄門があり、その先が玄室/安山岩の精巧な截石切組積による両袖型石室



石室実測図



そこで、振り返って南方向を見たところ



これは墳頂にあった小祠

 [video](#)



そこで、羨門の辺りを見下ろしたところ



上を見上げると、南方向の建設会社の機材置き場が見える



そこで、西方向を見たところ



同じく、北方向を見たところ



同じく、東方向を見たところ



参考ホームページ

<http://www.city.kiryu.lg.jp/kankou/bunkazai/1010700/kenshitei/1001959.html>

<https://homepage.obunko.com/iseki/kohun/nakatsuka.htm>

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2019/04/27/000000>

<http://kofuntokaare.main.jp/4goufun/page017.html>

<https://katana04.blog.fc2.com/blog-entry-1530.html>

<http://yoshida-kofun.in.coocan.jp/gkiryu1.htm>

<https://tigerdream-no.blog.jp/archives/8350010.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/niisato/naka.htm>

<http://obito1.web.fc2.com/kiryuumidori.html>

